

科目名	臨床心理学研究法特論 [院]					単位	2.0
担当教員	石牧 良浩						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	3782

●授業のテーマ

臨床心理学研究の方法論、量的研究と質的研究・論文の書き方について学ぶ。

●到達目標

質的研究・調査研究など様々な研究法において、研究のデザインのしかた、先行研究の集め方、実験結果のまとめ方、論文の体裁作りなど、研究のための一連の流れについて理解する。

●学習内容(授業概要)

臨床心理学領域においては、臨床心理面接、アセスメント、地域援助と並んで、調査研究が「4つの柱」と呼ばれている。臨床実践現場の中での疑問が研究の動機づけとなり、また、研究の結果は日々の臨床実践に還元されていかなければならない。具体的には、様々な分野の研究論文に触れ、「問題と目的」から「考察」までの論文づくりの体裁を学ぶ。また、プライバシーを含む倫理的配慮の重要性についても説明する。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション・「研究」とは何か
2. 先行研究レビューとは
3. 「はじめに」について
4. 「問題と目的」について
5. 「結果」について
6. 「考察」について
7. 事例研究① 個別面接
8. 事例研究② 精神科デイケア
9. 調査研究① 社会調査
10. 調査研究② 質問紙
11. 投映法研究① ロールシャッハ・テスト
12. 投映法研究② TAT
13. 投映法研究③ 描画法
14. コミュニティ・アプローチ研究
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

関心のあるテーマの先行研究を精読する。その研究がどのようなことを述べているのか、1000字程度にまとめる練習をする。

●成績評価方法・基準

講義への参加状況 50%、期末試験 50%の総合評価とする。

●テキスト(必携)

「心理学論文の書き方―卒業論文や修士論文を書くために―」

松井豊著・河出書房新社

販売先：生協

●参考文献／その他

講義中にプリントを配布する。プリントを綴じるためのファイルを各自用意すること。

参考文献は授業中に指示する。

●履修上の注意

講義中に指示。

講義計画は変更が生じる場合があるので了承されたい。